2020年11月26日

各　　位

会　社　名	株　式　会　社　文教堂グループホールディングス
代表者名	代表取締役社長　佐　藤　協　治
	（ＪＡＳＤＡＱ　コード番号：９９７８）
問い合わせ先	取締役　財務経理部長　小　林　友　幸
ＴＥＬ	０４４－８１１－０１１８

債務超過解消による猶予期間の解除に関するお知らせ

当社は、2018年８月期において債務超過の状況となり、株式会社東京証券取引所における上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたが、本日（2020年11月26日）、有価証券報告書を関東財務局に提出した結果、2020年８月期において債務超過を解消したことにより、猶予期間入り銘柄から解除されましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

１．対象となる法定開示書類

有価証券報告書（第70期　自　2019年９月１日　至　2020年８月31日）

２．債務超過解消に至った経緯

当社は、2018年８月期において223百万円の債務超過の状況となり、2019年８月期においても4,216百万円の債務超過の状況となりました。こうした状況を受け、当社といたしましては、今後の事業再生と事業継続に向け、財務体質の抜本的な改善を図るため、2019年６月28日付で産業競争力強化法に基づく特定認証紛争解決手続（事業再生ADR手続）の利用申請を行い、事業再生計画案に対して事業再生ADR手続の対象債権者となるすべての取引金融機関からの同意を得て、2019年９月27日付で事業再生ADR手続が成立いたしました。

当社は、事業再生計画案に基づき、財務面においては、2019年９月27日付「第三者割当による種類株式の発行、種類株式の株式併合及び内容変更、定款の一部変更、資本金及び資本準備金の額の減少に関するお知らせ」にて公表いたしました資金調達の結果、取引金融機関による債務の株式化4,160百万円、主要株主である日販グループホールディングス株式会社による第三者割当増資の引受500百万円により、資本の増強を実施いたしました。

事業面においては、店舗運営の改善を図るためエリアマネージャー制度を2019年８月期より導入し、顧客対応及び店舗オペレーションを見直すことによって売上高の増加及び店舗運営コストの削減に努めてまいりました。一方で、不採算店舗の閉店についても積極的に進めており、2019年８月期には30店舗、2020年８月期には23店舗の閉店を行ってまいりました。また、経営資源の選択と集中を強化するため、2019年10月31日付でアニメキャラクターグッズ販売事業を譲渡いたしました。

当社は、業務効率化を図るためグループの組織再編等も進めており、当社子会社である株式会社ブックストア談と有限会社シマザキについては2019年５月１日付で、株式会社文教堂ホビーについては2019年12月１日付で株式会社文教堂に吸収合併いたしました。また、本部コスト削減のため、2019年８月期に所有していた本社不動産を売却し、本社移転によって本部のスリム化を進めてまいりました。

以上の結果、2020年８月期の連結業績は、営業利益414百万円（前年同期は497百万円の営業損

失)、経常利益358百万円（前年同期は610百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する当期純利益は288百万円（前年同期は3,981百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を計上し、2020年8月末時点の純資産額は732百万円の資産超過となり、債務超過を解消いたしました。

３．今後の見通し

当社は、2019年9月27日付で成立した事業再生ADR手続のもとで策定された事業再生計画案に基づいて、①エリアマネージャー制度の強化による店舗収益力の向上、②返品率の減少による収益率の改善、③高収益商品の導入による商品構成の見直し、④事業規模に見合った人員の適正化等の事業構造改革を引き続き進めてまいります。一方で、中長期を見据えた成長戦略の構築に取り組むため、財務基盤を強固なものとし、継続的に収益力を強化することで、企業価値及び株主価値の向上に努めてまいります。

以　上